

自然ふれあい講座(セミのぬけがらを探せ! 2024) 実施報告

Report

この講座は、セミのぬけがらを集めて、それらの種類と数を調べるという内容で2012年から行っているものです。主に親子を対象としています。今年も県内の6会場で開催し(図1)、合計で111名(うち子ども59名)の方にご参加いただきました(表1)。

講座の前半では、セミのぬけがらを集めます(写真1)。最初はぬけがらがなかなか見つからない子どもたちも、ぬけがらが付いているのが木の幹だけでなく枝先や小さな草木にもあることがわかると、どんどん見つかるようになってきます。

講座の後半は、集めたぬけがらを種類毎に分類して数をかぞえます(写真2)。ぬけがらは大きさ、色の具合、そして触角の特徴(ふしの数とその長さや太さ)などをたよりに見分けることができます。なかなか大変な作業ですが、「見分け方がわかった」など得るものもあったようです。

最後にみんなで集めたぬけがらの種類と数を集計します(図2)。アブラゼミはどの会場にもいますが、大町、伊那、上田_2ではエゾゼミ、長野や上田_2ではニイニイゼミ、松本と上田_1ではミンミンゼミ、伊那ではヒグラシが特徴的です。標高や環境の違いによる影響ではないかと考えています。

また講座を毎年同じ時期に同じ場所で行うことで、セミの種類や数を比較することができます。本講座がこのような変化と気候変動などの環境変化との関係を考えるきっかけになればと考えています。

最後に、参加者のみなさん(特に子どもたち)には楽しんでいただけたようでとてもうれしく思っています。また暑い中、各会場ではボランティアスタッフの方々にご協力いただき、感謝しています。(浜田 崇/自然環境部)

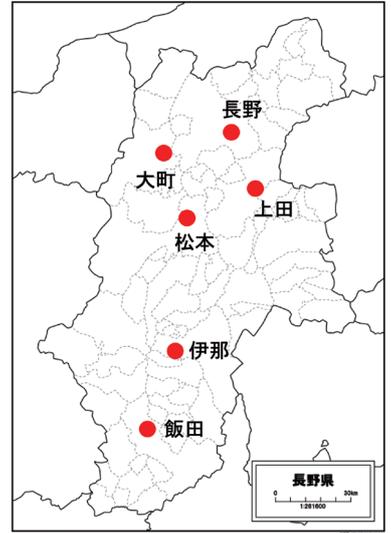


図1. 自然ふれあい講座の会場

表1 各会場の参加者数

開催日	会場	参加者数
8/1	長野(川中島古戦場史跡公園)	26名(うち子供14名)
8/2	松本(アルプス公園)	14名(うち子供8名)
8/3	大町(市立大町山岳博物館)	9名(うち子供5名)
8/4	伊那(鳩吹公園)	28名(うち子供14名)
8/5	上田(市民の森公園)	23名(うち子供11名)
8/6	飯田(かざこしこどもの森公園)	11名(うち子供7名)



写真1. 長い棒を使ってぬけがらを探ろうとしている...

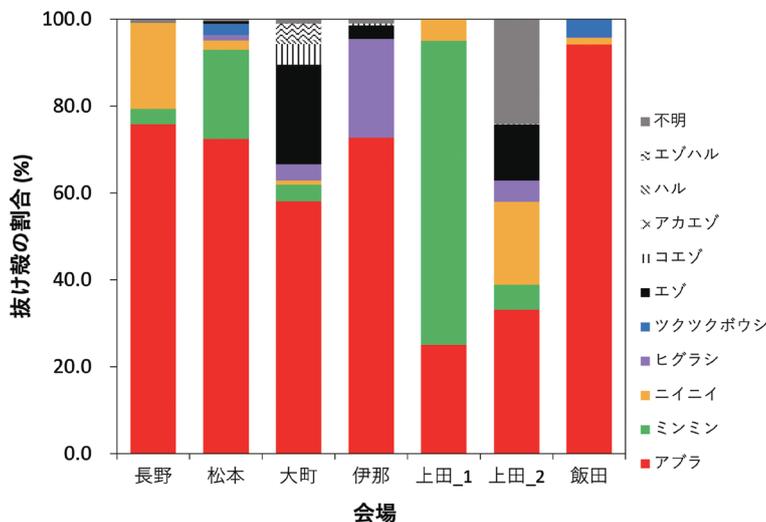


図2. 会場によってセミのぬけがらの種類毎の割合が違う(上田_1は2021年までの会場(染屋の森)、上田_2は現在の会場(市民の森))



写真2. これから分類を始めるところ

